

3 宇宙空間の安定確保が大きな課題

SSA (宇宙状況把握、Space Situational Awareness)

安定確保には、宇宙空間の状況を正確、迅速、タイムリーに把握することが大前提



JSpOC (Joint Space Operation Center、米国CA州) が拠点

目標の追尾、監視 : 約40万回/日の目標捕捉と軌道計算予測で追尾、23,000個の目標を追尾

衛星軌道の安全性の評価、衛星衝突回避

追尾目標の識別、打ち上げ・再突入支援などの監視

ORS-1などの衛星の運用 : 東日本大震災において画像支援を実施



全世界に約30宇宙監視センサーを配備

SBSS (Space-Based Space Surveillance system : 宇宙からの監視)





衝突回避の情報などを他国、商業衛星業者に提供

日本へもSSAの高度な情報を提供



2013年日米MOUに基づき日本の衛星に関するアセスメントを実施
打ち上げ支援、衛星衝突回避支援、衛星軌道情報支援など
英、豪、加とは、協力が深化

SSA能力が不十分

南半球とアジア地域における観測網が不十分
センサーの地理的分散と国際協力の拡大が必要



米国などとのSSAに関する協力が必要

JAXAのレーダ、光学望遠鏡などによる観測協力
JSpOC、米国などと迅速に連携するためのメカニズム、組織の検討が必要
情報保全、施設保全などの体制整備が必要